



つくば市
バリアフリー
マスタープラン(案)
【わかりやすい版】

令和6年(2024年) 月

この資料は、音声コード Uni-Voice に対応して作成しています。音声の読み上げには、スマートフォンアプリ (Uni-Voice Blind アプリ) で読み取ると、内容を音声で聞くことができます。
<スマートフォンアプリのダウンロード>

■Uni-Voice Blind

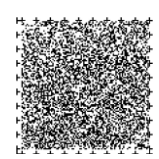
iPhone版



Android版



右のマークは音声コード「Uni-Voice」です。専用アプリで読み取ると、内容を音声で聞くことができます。



これからの
やさしさの
ものさし
つくばSDGs

バリアフリーってなに？

「バリアフリー」の「バリア」とは、英語でかべ（障壁）という意味です。バリアフリーとは、生活の中で不便を感じることを、様々な活動をしようとするときのバリアをなくす（フリーにする）ことです。

例えば、道路や建物に設置されている「点字ブロック」や「スロープ」、「手すり」、「エレベーター」などがバリアフリーの施設ですが、私たちが利用する駅や道路、病院、学校などには、みんなが歩きやすく、移動しやすいようにさまざまなくふうがされています。このような便利な施設をきちんと作っていくことがみんなが住みやすいまちにするために大切なことです。

まちのなかにあるバリアフリー施設を見てください



車いすの方がエレベーターに乗りやすいように低い位置にボタンがあります。



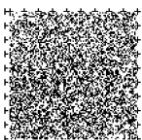
ベビーカーや車いすの方が通りやすいようにスロープがあります。



外国人の方が迷わないように、外国語の案内看板があります。



目の不自由な人が歩きやすいように、足元に点字ブロックが敷いてあります。



このマークは音声コード「Uni-Voice」です。

としよ からだ ふじゆう ひと こま ひと たす
お年寄りや体の不自由な人など、困っている人を助けるおも
いやりの心（心のバリアフリー）を育てていくことが大切です。
こま ひと たす
困っている人を助けるために、いろいろなマークがあることも
し
知っておきましょう。



しょうがいしゃ りよう
障害者が利用できる
しせつ
施設であることを
あらわ
を表すための世界
きょうつう
共通のシンボルマ
ークです。



め ふじゆう ひと
目が不自由な人のた
めのシンボルマーク
です。目が不自由な
め ふじゆう
人がつかう施設に
ひと しせつ
表示されています。
ひょうじ



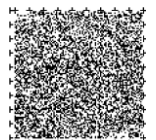
お
ベビーカーを折り
あ
たたまずに安心し
あんしん
てベビーカーをつ
かえることを知ら
し
せるマークです。



き
聞こえない（聞こ
えにくい）ことを
あらわ
表すとともに聞
き
こえない人へ親切
ひと しんせつ
にするためのマー
クです。



しょうがい ひと ささ
障害のある人を支
えるために訓練され
くんれん
た犬（ほじょ犬）の
いぬ けん
ことを知ってもら
し
うためのマークです。



バリアフリーマスタープランとは？

バリアフリーマスタープランとは、みんなが^す住みやすいまちを目指して、まちのなかの^なバリアを無くしていくことをみんな^{いっしょ}で一緒にとりくむための^{けいかく}計画です。

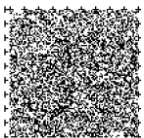
バリアフリー化に向けた^{か むけ きほんてき かんが かつ}基本的な考え方

テーマ（^{きほんりねん}基本理念）

つながりを^{ちから}力に「^{だれひとり と のこ}誰一人取り残さない」まちづくり

つくば市の^しバリアフリー化を進めるためには、みんなが^{いっしょ}一緒にささえあい、^{たいせつ}しっかりとつながることが大切です。

「^{だれひとり と のこ}誰一人取り残さない」という^{おも}思いをもって、みんなが^{あんしん}安心して^{じぶん}自分らしく^{せいかつ}生活できるように、まちづくりを^{いっぽ}一歩ずつ^{すす}進めていきます。



このマークは音声コード
「Uni-Voice」です。

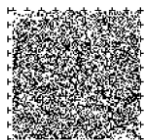
と く きほんほうしん
取り組むことⅠ（基本方針）

いどう
みんなが移動しやすいまちをつくる

どんなことにとりくむの？



- 歩道のだんさや急なさかみちをゆるやかにしたり、目が不自由な人のための点字ブロックやわかりやすい案内かんばんの設置を進めます。
- みんなが利用しやすい新しい技術や、ほかのまちの良いとりくみを見本にします。
- 電車やバスやタクシーなどがもっと便利になるようにとりくみます。



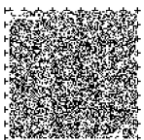
と く きほんほうしん
取り組むこと2 (基本方針)

こころ こころ
おもいやりの心 (心のバリアフリー) を
そだ かんきょう
育てる環境をつくる

どんなことにとりくむの？



- としよ からだ ふじゆう ひと しみん
お年寄りや体の不自由な人などのさまざまな市民がお
たが りかい かんきょう
互いを理解できる環境づくりを進めます。
- がっこう こころ こころ そだ
学校などでおもいやりの心 (心のバリアフリー) を育
てるとりくみすす
てるとりくみを進めます。
- しみん こうりゅう
さまざまな市民が交流できるイベントなどをひらきま
す。



このマークは音声コード
「Uni-Voice」です。

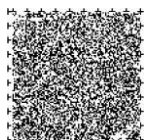
と く きほんほうしん 取り組むこと3 (基本方針)

し しせつ か すす 市の施設のバリアフリー化を進める

どんなことにとりくむの？



- あたら し しせつ げんざい し
新しい市の施設をつくる時はもちろん、現在ある市の施設もバリアフリー化を進めます。
- しせつ なか びょうどう りよう ひとり
施設の中では、みんなが平等に利用できるように、一人ひとりに合わせたサポートの方法をくふうします。
- しせつ りよう としより からだ ふじゆう ひと
施設を利用するお年寄りや体の不自由な人などと協力しあって、みんなが使いやすい施設を目指します。



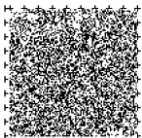
つくば市バリアフリーマスタープラン

令和6年(2024年) 月

発行 つくば市政策イノベーション部企画経営課

〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1

電話 029-883-1111 (代表) FAX 029-828-4708



このマークは音声コード
「Uni-Voice」です。